

JTA Journal

ジャーナル

July 2017 (平成29年7月)

No.9

巻頭言



会長就任のご挨拶

会長
牛島
望

去る6月7日の日本機械工具工業会総会において、本間前会長の後を受け、第2代の会長を仰せつかりました。大変光栄に存じますとともに、重責に身の引き締まる思いでございます。誠に微力ではございますが、当会の発展に尽力致す所存でございますので、会員の皆様方におかれましても、倍日のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

早いもので、日本工具工業会と超硬工具協会の統合により、当工業会が発足して丸2年が経過致しました。顧みますと、諸委員会の統合、コンプライアンス対応の基本姿勢、地区連絡会の進め方、ハワイでのWCTC (世界切削工具会議) 参加等、将来像や運営について、多数の会員の皆様で活発に意見交換できた2年間だったのではないかと思います。あっという間ではありましたが、統合の実効を挙げることができたのではないのでしょうか。

また、本間前会長が特に力を注がれた会員の皆様の海外展開支援につきましては、個人的に思い入れがありますので今後も継続して積極的に取り組んで参ります。海外の取引先へのPRのためのダイレクトメール送付、英文リーフレット・サンプルボードの作成、海外市場についての講演会への出席や与信調査等、会社に入ったばかりの頃は、そのような仕事に楽しく取り組んでいたのを懐かしく思い出します。但し、当時は、今のようにインターネットは勿論存在せず、出版物、実際のビジネス経験者から多くの海外の情報を入手できるという時代ではありませんでした。1人での海外出張は、訪問先に行くだけでも結構大変でした。現在は、デジタル社会・ネット社会と言われますが、工具関係は今でも見本市や実演会等を含めて現物重視のアナログ的なアプローチが大切なのではないかと思います。

さて、機械工具事業を取り巻く環境については、今後のタングステンや自動車の動向により、大変大きな影響を受けることは覚悟しておかねばなりません。超硬の主原料であるタングステンについては、鉬山が一部地域に偏在しており、その調達の難しさ、不安定さは今に始まったことではありません。また、自動車については、EV化の進展による内燃機関の加工減少も、異論も有りとは言え、可能性が高いと認識しておく必要があります。

更に、最近、コバルトの相場が高騰しています。限られた供給に対して、EV用電池の電極材として大いに期待されていることによる、需要の拡大予想と、それに付随した投機の拡大によると言われています。タングステンとコバルトの供給リスクは、これから先も継続するものと見ていた方がいいでしょう。その意味で、超硬工具の使用済みスクラップの回収率向上とリサイクルの強化には、引き続き業界を挙げて取り組んでいく必要があります。

加工技術の動向では、金属3Dプリンター等付加加工の増加、航空機や医療向け難削材加工の増加、製造ラインでのIoTの普及等は直近見えているものですが、欧米のユーザー主導による工具、さらには加工の規格化、標準化も乗り遅れが許されない動きだと思います。

このように機械工具を取り巻く環境が大きく変化しようとしているなか、工業会全体で取り組むべき課題を早く吸い上げて、実施していきたいと考えます。

私も努力致しますが、会員の皆様方のご協力が不可欠です。建設的、積極的な提言と主体性のある活動を期待します。これからの2年間、何卒宜しくお願い申し上げます。

(住友電気工業(株) 専務取締役(代表取締役))

平成29年度定時総会

第3回定時総会が去る6月7日、アーバンネット大手町ビル東京会館にて開催された。

冒頭、日下部専務理事より出席者は62社（代理人出席含む）、委任状10社で定款に定める定足数を満たしており本総会が有効に成立する旨報告があり、開会した。



本間会長挨拶

初めに本間会長から「平成28年度の生産実績は対前年度比で4%の減となったが、今年度の見通しは国内自動車の回復、中国経済の持ち直しを反映してか、会員からのアンケートでも好調であることが見込まれるため、平成28年度に対して3%増で4,580億円とした。会長を引き受けた2年前にコンプライアンスの強化と会員企業の国際化の2つの方針を打ち出した。コンプライアンスの強化では、コンプライアンス規定の策定や講習会の開催等で、コンプライアンス意識が高まったと思われる。国際化は、国際委員会のもと中小中堅企業の皆様への海外進出についての提案や海外展示会への出展協力などを行い、ある程度成果がみられたと思う。今後も国際委員会から会員の皆様に役立つ施策を提案していただ



定時総会の様子



理事会の様子

きたいと思う。」と開会挨拶があった。その後、本間会長は議長として議長席につき、議案審議に入った。

審議事項は6件。

第1号議案の平成28年度事業報告・収支決算については事務局からの説明・岡田監事（日本新金属㈱）による監査報告の後、承認可決された。

第2号議案の平成29年度事業計画については、政府が実施する経済振興・助成策等公的施策に対する情報収集と会員への情報伝達の迅速化と徹底について、また各委員会・部会の計画、広報活動、会合の開催についての説明があり、承認可決された。

第3号議案、第4号議案では平成29年度会費および収支予算に関して説明があり、原案通り承認可決された。

本年度の総会で役員全員が任期満了となるため、第5号議案では、役員改選が行われた。新役員の選出にあたり、理事会で活発な議論が出来る体制にするため理事を現在の22社から15社、監事を4社から2社にするという説明があり、役員選出が承認可決された。

ここで総会を一時中断し、新役員による理事会が開催され、新会長と副会長が選出された。再開した総会では第6号議案として、新会長には牛島理事（住友電気



牛島新会長挨拶

工業(株)、副会長には石川理事(オーエスジー(株))、鶴巻理事(三菱マテリアル(株))、生悦住理事(ダイジェット工業(株))、岩田理事(イワタツール(株))の選出が発表され、承認可決された。その後、牛島新会長から「本間前会長の後を受けて2代目会長となったが、誠に重責であり、副会長をはじめ皆様のご支援を承って当工業会の発展に全力を尽くしてまいります。」と就任挨拶があった。

続いて、報告事項として新規入会会員の紹介、平成29年度生悦住賞・新庄賞受賞者の発表、各委員会からの報告が行われた。

コンプライアンス委員会(報告者:西嶋委員長(富士ダイス(株)))からは、競争法コンプライアンス規定の策定および規定の主なポイントについての説明があった。

総務委員会(報告者:坂本委員長(株不二越))からはcBNのリスト規制の対応、次期役員・組織の検討各種工業会組織の見直し(統廃合)等の活動報告があった。

国際委員会(報告者:小林委員長(株不二越))からは、JETROとの共同取組、海外展示会の取組についての報告があった。また2017年EMOでの当工業会ブース出展による会員企業のPR、EMO見学ツアー、ドイツ企業とのマッチング等の企画について説明があった。

技術委員会(報告者:櫻井委員長(オーエスジー(株)))からは、技術功績賞の選考、技術交流発表会、ISO新規規格ISO22180対策会合、ISO/TC29/WG34への参加等についての報告があった。国際会議の場で日本の意見が尊重されたことから、言葉の問題があるが今後も継続して参加していくことに意味があり、人材はISO13399を業務で扱っている人が望ましい旨、説明があった。

環境委員会(報告者:谷内委員長(三菱マテリアル(株)))からは2016年度活動概要、2016年環境調査の結果、

2017年度環境賞関連の予定について報告があった。今年度の活動賞は表彰基準の明確化や、優劣をつけるだけではなく個々の活動内容にスポットを当てて表彰する等、より多くの企業に参加してもらい、環境改善活動の相互啓発を推進したいと説明があった。



経済産業省 片岡課長 来賓祝辞

その後、事務局

より平成28年度生産実績および平成29年度生産額見通しについて、平成28年度実績は4,431億円、平成29年度見通しについては上期は対前年同期比2.4%増の2,278億円、下期は対前年同期比4.4%増の2,302億円、通期見通しでは対前年度比3.4%増の4,580億円としたと説明があった。



鶴巻新副会長

定時総会後には、平成29年度生悦住賞と新庄賞の表彰式を行った(次ページ参照)。

続いて開催された懇親会では、牛島会長による

挨拶、来賓の経済産業省片岡産業機械課課長による祝辞に続き、鶴巻副会長の乾杯の発声で開宴し、新入会員の挨拶、歓談のあと、本間前会長の中締めによって閉会した。



新旧会長



懇親会の様子

平成29年度生悦住賞・新庄賞受賞者紹介

いけずみ 生悦住賞

ダイジェット工業(株)故生悦住貞太郎会長が、1978(昭和53)年に傘寿を迎えられ、また同年は旧超硬工具協会創立30周年にあたることを記念して、協会に多額の寄付をいただきました。ご寄贈者のご意向に則り、その有効活用を目的として



平成29年度生悦住賞受賞者

生悦住基金が設けられました。本賞は、この基金をもとに①会員で草の根的に功労のあった人②会員内外を問わず業界発展に貢献された人、を顕彰するために制定された表彰制度です。

平成29年度生悦住賞受賞者：2名

◎細島 圭三 元、株式会社 彌満和製作所
功績の概要

1963(昭和38)年頃より、会員代表者代理として日本工具工業会通常総会、常任理事会等に出席。また、ねじ切り工具部会、ドリル部会等に参画。1989(平成元)年からは、ねじ切り工具部会貿易委員長を2年間務められた。さらに、総務・企画委員、My ツール編集委員を歴任、統合後も引き続き機関誌編集委員をとして本年2月に退職されるまで活躍されるなど、約54年にわたり工業会の委員会、製品別部会を中心に貢献された功績。

◎近藤 豊 元、日本新金属株式会社
功績の概要

約17年間にわたり、超硬工具協会の業務、資材及び関東地区会員懇談会の委員として協会活動に参画。超硬原材料メーカーの立場としてそれぞれの委員会活動を通じて、主要原料の

タングステン、コバルト等の需給動向について会員企業に的確な情報提供をされた。特に、2005(平成17)年年頭から始まったタングステンの急騰にあたっては逐次、商社、現地企業をはじめ各方面から情報入手に奔走されるなど超硬原料の安定供給に尽力された功績。

新庄賞

故新庄鷹義氏が55年在任された富士ダイス(株)社長職から会長職へ昇格され、合わせて米寿の慶事にあたり、同氏からの多額のご寄付をもとに創設した新庄基金が設けられました。受賞資格者は、会員企業(正会員)の“^{いんとうく}陰徳の士”的立場にある人(一般には目立たないながら、会社にとって非常に有用なことを実践している人、ボランティアを含む)で、所属企業からご趣旨にそった方の推薦を受け表彰する制度です。



平成29年度新庄賞受賞者

平成29年度新庄賞受賞者：6社6名

- ◎ 株式会社 アライドマテリアル・住友電気工業株式会社 馬庭 典子
- ◎ 株式会社 イワタツール 鈴木 成和
- ◎ サンアロイ工業株式会社 藤井 守正
- ◎ 日本タングステン株式会社 田中 章
- ◎ 瑞穂工業株式会社 曲馬 容子
- ◎ 三菱日立ツール株式会社 豊田喜恵子

新入会員紹介

◆正会員

株式会社 ^{はたたき} 畑滝製作所 (平成29年4月入会)

◎ 会員代表者 代表取締役 畑 和昌

◎ 本社所在地 〒675-1213

兵庫県加古川市上荘町国包312-1

◎ 電話番号 079-438-6101

◎ FAX番号 079-438-1075

◎ URL -

◎ 主要製品 油圧部品切削加工・油圧部品円筒加工・切削工具円筒研磨

◆賛助会員

豊田バンモップス株式会社 (平成29年4月入会)

◎ 会員代表者 代表取締役社長 新井 東

◎ 本社所在地 〒444-3594

愛知県岡崎市舞木町字城山1-54

◎ 電話番号 0564-48-5311

◎ FAX番号 0564-48-5397

◎ URL <http://www.tvmk.co.jp>

◎ 主要製品 ダイヤモンド・CBN工具

日本機械工具工業会 役員一覧

会 長	牛 島 望	住友電気工業(株) 専務取締役(代表取締役)
副 会 長	石 川 則 男	オーエスジー(株) 社長兼CEO
	鶴 巻 二三男	三菱マテリアル(株) 常務執行役員加工事業カンパニープレジデント
	生悦住 歩	ダイジェット工業(株) 社長
	岩 田 昌 尚	(株)イワタツール 社長
理 事	植 山 浩	高周波精密(株) 常務取締役
	山 本 誠 司	サンアロイ工業(株) 社長
	田野井 優 美	(株)田野井製作所 社長
	木 下 聡	(株)タンガロイ 社長
	寺 島 誠 人	(株)東鋼 社長
	天 野 孝 三	日本特殊陶業(株) 常務執行役員
	塚 本 裕	(株)不二越 取締役
	森 誠	富士精工(株) 社長
	西 嶋 守 男	富士ダイス(株) 社長
	岩 崎 啓一郎	三菱重工工作機械(株) 社長
	監 事	藤 原 啓 郎
高 橋 勉		大和精密工具(株) 社長
専務理事	日下部 祐 次	日本機械工具工業会
	関 口 紳一郎	日本機械工具工業会

平成29年度総会にて就任(任期は2年)



新会長・新副会長



新役員(平成29年度 第2回理事会後)

1. 開催日

2017/5/15 9:00-17:00

Tools with defined cutting edges, cutting items (SC9)

出席14名 (内日本3名)

2017/5/17 9:00-12:00

Task Force (TF) 出席21名 (内日本5名)

2017/5/17 13:00-18:00

Maintenance Agency (MA) 出席21名 (内日本5名)

2017/5/18 9:00-15:00

Working Group (WG34) 出席21名 (内日本5名)

2017/5/19 9:00-15:00

Small Tools (TC29) 出席29名 (内日本5名)

2. 開催場所

ストックホルム、スウェーデン規格協会 (SIS) 事務所



SIS事務所建物



事務所内風景

3. ISO/TC29会合

3-1. 出席者

サンドビック 3名、イスカル 3名、セコ1名、ワルター1名、マパール1名、シーメンス1名、DIN 1名、SIS 1名、Dassault Systems 1名、UNM 4名、International carbide data1名、日研工作所 (三角進)、住友電工ドイツ (目黒貴一)、日本工作機器工業会 (堺弘司)、日本機械工具工業会 (大石哲也)、OSG (小出文也)、中国は成都工具3名、協会2名、通訳1名 ※各会議で入れ替わりがあるため、上記はTC29出席者とした。

3-2. まとめ

4日間の会議は、ISO/TC29/SC9、TF、MA、WG34、TC29で構成されていた。SC9では工具規格の審議、TF、MA、WG34はISO13399の規格についてであり、それぞれTFは規格作成作業、MAは規格の修正作業、WG34は規格案についての審議が行われている。TC29は2年に一度開催される会議で主に各SC及びWGからの報告が行われた。

SC9においては技術的に正しいことを論理的に話せば基本的には聞いてもらえる雰囲気を感じられた。その証拠

に日本の反対票に対する態度は、小生の不慣れな説明に対しても資料を読み込みながら理解する努力を各国の方々がしてくれたおかげで、日本の意見が通った部分が多い。

TF、MA、WG34はISO13399に特化しているため、今後の参加者についてはISO13399を業務として扱っている人が専任担当者となり継続して出席することが望ましいが、そのような方がいない場合は幹事会社の担当者が、2年の任期を1人で全うすることが考えられる。

3-3. SC9内容

規格の確認及び作成作業が主な業務。今回は草案の確認、定期審査及び新しい規格の審議が行われた。純粋に規格の議論が主な内容だった。

最終草案 (FDIS) の投票結果の連絡があり、資料No.N2697~2701について承認された、との確認がされた。引き続き規格の定期審査が行われ資料番号N2667、2693、2687、2688、2689について確認作業が行われた。

ISO5609-1については多くの間違いが指摘されていた。日本が反対したISO/CD22180については上述の通り、多くの意見が受け入れられドイツ側で資料の見直しを行うこととなった。

3-4. TF内容

事務局はケナメタルのArthur Moll氏からUNMのSara Melique氏に交代になった。

TFはISO13399の規格を作成する実務者会議である。今回はイスカルから提案された議題、Axis system in the tap、LTA1/LTA2、Properties "1"、NOCUT、Property of corner radius、documents prepared (ISO/TS13399-50) について討議された。

3-5. MA内容

MAは制定された規格等が実際と違った時などに修正を加える実務者会議である。Ticketと呼ばれる事前に提出された質問状に対して討議が行われた。今回は861、883、888~890、896、901~910の質問状について討議された。CSWやMCS等のタップにおける定義について討議された。これらの質問状の殆どはサンドビックとイスカルから提出されている。

エキスパート登録は各国1名だと認識していたが、複数でも登録可能だと判明した。

3-6. WG34内容

WG34は、TF、MAを受けてISO13399規格を審議及び修正する会議である。事前に提出された資料No.N486~491について討議が行われた。また、自国で作成した質問の部分について説明を行い討議が行われた。

3-7. TC29内容

2年に一度開催される会合である。

フランスのAlain Freyermuth氏が約10年のあいだ議長を務められていたが、今回を最後に退任される。

TC29の下部組織である各SC、WG及びMAから報告が行われた。報告があった各組織の名称は下記の通り。

SC 2 – Holding tools, adaptive items and interfaces

SC 5 – Grinding wheels and abrasives

SC 8 – Tools for pressing and moulding

SC 9 – Tools with defined cutting edges, cutting items

SC 10 – Assembly tools for screw and nuts, pliers and nippers

WG37 – Joint TC 29 - TC 39/SC 10 WG; Balancing of rotating tool systems

WG34 – Cutting tool data representation and exchange

ISO 13399 Maintenance agency

USAから“male and female”と言う単語は性を連想させ技術用語としてふさわしくないため他の表現を決めるよう提案があった。討議の結果、TC29としての意見は、



会議風景

“可能なら使用は避ける。Male の代わりとしてshank又はshaft、femaleの代わりとしてreceiver又はhole等を使用してはどうか”という文言が採決された。

また、SC2とSC9は出席者もほぼ同じで討議内容も類似していることから統合して新名称を決めるよう提案があり、了承された。

次回スケジュール

2018年1月16日～18日 パリ

(オーエスジー(株) デザインセンター穴加工グループリーダー)

日本機械工具工業会主催 EMO2017 視察ツアー催行決定

本年9月18日から23日まで開催されるEMO2017欧州国際工作機械見本市(ドイツ)の視察ツアーを国際委員会で企画し募集したところ、合計33名と多くの会員の皆様から参加お申込みをいただきました。

また、今回はJETROと共同で企画した「商談チャレンジ」に8社エントリーいただき、初出展するJTAブースでの商談会等を予定しております。



<ツアー概要>

1. 期間

2017年9月20日(水)～

9月27日(水) 6泊8日

2. 視察先

EMO(ドイツ・ハノーバー)

DMG MORI フロンテン工場

CERATIZIT Austria GmbH(ロイテ)

BMWミュンヘン工場 ほか

3. 旅行社

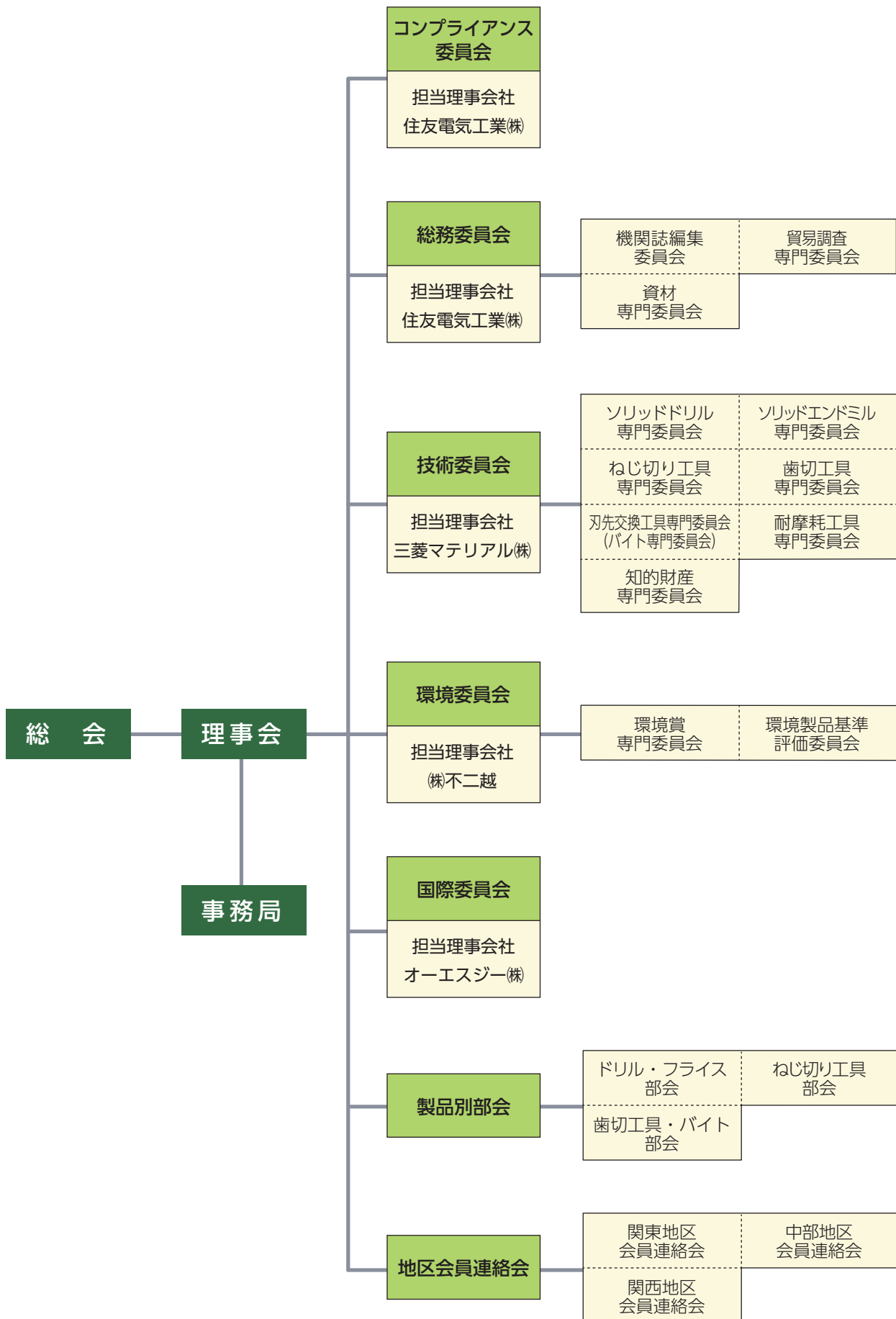
近畿日本ツーリスト(株)



前回EMO2015ミラノ会場

日本機械工具工業会組織図

2017年6月改正



ある日子供と会話をしていると、ポケモンや妖怪ウォッチの1,000を超えるキャラクターの名前を全て覚えていた事に驚きました。なぜこんなに覚えることができるのだろうと子供の記憶力について調べてみると、概ね5才あたりを境界として、それ以前とそれ以降では脳の機能が異なる事がわかっているそうです。

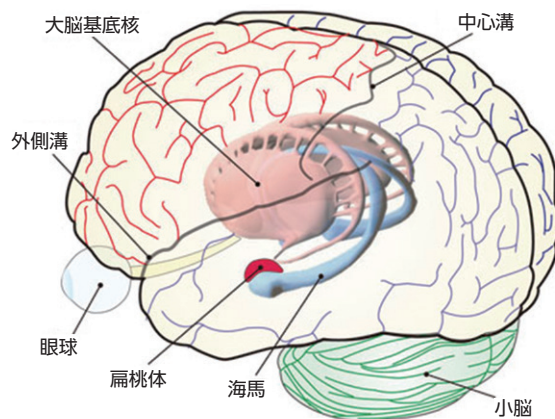
5才以前の子は、抽象的な思考や論理的な思考ができなかわりに、目の前で見た事をそのまま記憶する能力に長けています。まさにキャラクターの名前を覚えていることはこの時期特有の現象のようです。但し、あくまで見たことを断片的に記憶するので、前後をつなげる事や関連づける事が苦手で、例えば「今日幼稚園で何やってきたの?」と聞いても、断片的な事は話せませんが、時系列で並べるのが下手なため「忘れた」という場合もあり、言いたくない事があったわけではないようです。

5才以降は抽象的思考、論理的思考の入り口に立ち、関連付けや時系列で並べる事が段々できるようになります。そしてこういった高度な思考力が発達するかわりに、ところどころピンボケしていたりするので、ある一瞬を鮮明に思い出す事は5才以前に比べて苦手となります。

まとめると、小さいうちはただ乱雑にどんどん取り込むので、興味のある対象に限っていえば驚異的に記憶できます、が、ピンポイントで非常に細かく詳しい記憶情報を引き出す事ができるかわりに、その記憶を時系列や何かの基準で整理する事はとても苦手だということです。

一方、最近の私は、とっさに人の名前が出てこなかったり、いわゆる度忘れが多くなってきているように感じています。歳を取ってきて記憶力が低下しているせいだとばかり思っていました、実は「年齢を重ねても、記憶力は低下しない」ことが、最新の研究でわかってきているそうです。

オランダの115歳で亡くなった女性の脳を解剖したところ、脳の機能がほとんど老化していないことがわかったのです。この実験結果から、脳の寿命は120年くらいだ



ろうと考えられるようになりました。脳細胞は1秒に1個ずつくらい死んでいくそうですが、実際のところ脳細胞が死んでいくから記憶力が落ちることは、ほとんどないと言われています。

大人は記憶力が低下したことをとても気にしますが、実際のところ、度忘れの回数は大人も子供も変わらず、大人はそれを『老化の象徴』という先入観で捉えることで深刻になることが多いようです。

それでもやはり、子供の頃に比べたら人の名前が思い出しにくくなっていると思う人も多いはずですが、しかし、名前が思い出せないのは、大人は子供と比べて知人の数が圧倒的に多く、たくさんの引き出しからひとつの名前を取り出すには時間がかかるためなのだそうです。

もの事を記憶するメカニズムとして、必要な情報を収集し取捨選択する海馬の機能と、選んだ情報をきちんと系統立てて保管する大脳皮質の機能という、ふたつのシステムが働きます。この海馬は、新しいことが大好きで、生命維持や対象に興味に向かって感情が動いている場合は、たくさんの情報を記憶するそうです。

記憶力の低下が歳のせいではないことにちょっと安心しました。今からでも、いろいろなことを覚えられる可能性が無限にあり、いろいろなことに興味を持てば、きっと楽しい生活が送れるような気がしませんか?

(株)タンガロイ 技術本部切削工具開発部部长

◆会社紹介

当社は1933年、大阪市東淀川区瑞光通（本社所在地）で切削工具メーカーとして創業しました。超硬、ハイス両方の切削工具を生産しています。また、社内で使用するためにダイヤモンド・CBN砥石の生産も手掛け、外販も行っています。

工場は大阪市（本社）、大阪府豊能郡、神戸市といずれも関西圏内にあり、地図上では伊丹空港を中心にちょうど三角形のような位置関係になります。

創業当時、本社のある大阪市東淀川区は砂地で、高さのある建物を建築するには不向きな土地であったと聞いています。川が近く砂地であることから20年ほど前までは染色工場が多くあった当地ですが、近年は土壌改良などの建築技術の進歩と、大阪中心部からの利便性の良さからベッドタウン化し、郊外へ移る工場も増えてきました。当社も工場拡張の際には前述の豊能郡や神戸市に工場を建設しました。



神戸工場



つばじに囲まれる正面入口

◆ご当地紹介

旧日本工具工業会の会報では本社（大阪市）周辺の紹介をしましたので、今回は神戸工場周辺を紹介します。当社神戸工場は神戸市といっても海側ではなく三田市寄りに位置し、また大阪からのアクセスは電車・車とも宝塚歌劇の町、宝塚市を通過して行きます。

三田市あれこれ：

三田市で有名なのは洋菓子店パティシエ・エス・コヤマ、そして史跡としては白洲次郎の墓でしょうか。

パティシエ・エス・コヤマとは小山進氏率いる、おそらく日本でも屈指の規模の独立店舗の洋菓子店です。1990年代「TVチャンピオン」洋菓子部門で連覇し、2003年には行列のできるロールケーキ屋として名を轟かせました。平日であってもロールケーキを買うために出来る行列は、今も当地の名物となっています。最近では4月の日経プラスで「もっとも美味しいシフォンケーキ」に第一位で選出され、人気は上昇するばかりです。ここ数年、規模がどんどん大きくなり、焼き菓子・ジャム・パン・カフェ・菓子スクー

ルなど建物が次々増えて洋菓子のテーマパークのようです。

東京で活躍した白洲次郎氏の墓が三田市にあることは案外知られていないのではないかと思います。戦後吉田茂の側近となり戦後の復興に大きな影響を与えた人物で、数年前テレビドラマなどにも取りあげられたことで彼の生前を知らない世代にもファンが多いようです。三田藩出身ということで墓があるのですが、有名な遺書「葬式無用、戒名不用」により、墓石には梵字が彫られています。墓のある清涼山心月院は住宅街の中にあるとは思えないほど緑が濃く静かなお寺です。



心月院山門



白洲夫妻の墓

宝塚市あれこれ：

大阪から神戸工場へ行く際、ほぼ必ず通過する宝塚市は言わずと知れた宝塚歌劇の町です。阪急電鉄創業者、小林一三により女子だけの劇団が設立され、2013年に創業100周年を迎えています。最近では有名な元女優や元テニスプレーヤーの娘たちが入学し、合格発表のたびにその倍率が話題となっています。宝塚歌劇団は5つの組（各組70名の団員）で構成され、各組が宝塚大劇場で約1カ月の公演、引き続き1カ月の東京公演をひとつのサイクルとして1年中上演されています。90%を超えるという集客率でもその人気具合がわかります。大阪市内と宝塚駅を結ぶ阪急電車、JR線では素のタカラジェンヌ（宝塚の女優）をよく見かけ、華やかな路線となっています。

宝塚歌劇の他に、手塚治虫の出身地としても宝塚は有名で、氏のエッセイ「ガラスの地球を救え」には宝塚で幼少期を送った様子が記されています。余談ですが、本書は手塚治虫が死の直前に環境問題に関して後世へメッセージを送るために執筆されたもので、今の中学生以上の子供たちにも是非読んでもらいたい一冊です。



宝塚大劇場



宝塚大劇場壁面

◆会社紹介

当社は、1961（昭和36）年10月、大手企業で技術の研究をしていた初代社長・故永井豊太が早期退職して独立、明石市大久保町西島に設立した。当時（1960～70年代）の日本経済は自動車や家電機器を中心に好況で、当社も受注が増えて日夜生産に追われる日々であった。1965（昭和40）年には素材生産の合金工場を拡張し、同時に加工製品の開発にも取り組むことになった。その成果は、わが国初の「超硬合金乳鉢」の誕生という形で現れた。1966年のことである。当時の乳鉢はメノウ製や磁器製が大半で衝撃に弱く、超硬合金製の乳鉢は画期的な商品となった。これを機に当社製品をU-DIAの商標で登録し、2年後には「素材から製品まで」を方針に加工工場を新設した。

1973（昭和48）年にオイルショックがおき、苦難を経験。だが、数年後には日本経済が持ち直し社業も回復した。当時、工場は2カ所に分かれていて不便だったことから、1985（昭和60）年に本社と工場を1カ所にまとめ、現在地の明石市魚住町中尾に新築・移転した。以来32年が経つ。当社のモットーは「顧客の信頼」「社員の和」。これは創業以来、今も変わらない。

◆工場案内

社屋・工場は鉄筋2階建て。1階工場、2階事務所。工場は合金と加工の2部門あり、合金工場では真空加圧焼結炉やプレス機、工作機械などで合金素材を製造。加工工場では切削機械や研削機械、放電加工機などで素材を加工し、製品化している。創業以来、高品質の素材、製品の生産を目標に技術開発に取り組んできた。この積み重ねにより「技術の関西超硬」と言われるまでになった、と自負している。



本社工場

◆ご当地紹介

○明石市

神戸市の西隣り。人口減少傾向の中、明石市は2013年以降毎年増え、2016年現在293,858人。都会性と田舎性

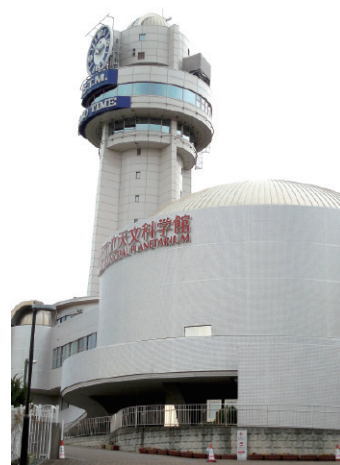
のバランスのよさがその理由という。また、「時のまち」でもある。その象徴が人丸町の明石市立天文科学館。東経135度の子午線がここを通り、日本の基準時間に。ホットニュースは今年1月にJRと山陽電車の明石駅前に完成した「本のビル」。市民図書館やこども図書館、大型書店が入居、多くの市民が訪れている。

○文学と歴史

平安時代の小説・紫式部の「源氏物語」の舞台の一つが大観町の善楽寺周辺。光源氏と明石入道の娘・明石の君とのロマンスが描かれる。同寺近くの戒光院に「光源氏古跡明石の浦の浜の松」の石碑や明石入道の歌碑が立つ。近くの辻には、明石の君が住む「岡辺の家」に光源氏が通ったという「鶯の細道」の碑も。

明石駅北側にある明石城。元和5（1619）年、小笠原忠真が築城。その際に行われた町割り（都市計画）は剣豪・宮本武蔵の手によると言われる。その記述が、地誌「明石記」や「播磨鑑」に残る。明石城内にあった「山里郭」の庭園も武蔵による作庭とされ、現在、明石城公園内の乙女池周辺にその一部が再現されている。

日光東照宮の「眠り猫」で有名な彫刻の名人・左甚五郎は、明石・和坂の生まれとの伝承がある。足利義輝の祐筆だった父・伊丹正利は義輝が殺害されたのを機に明石に逃れた。そこで生まれたのが刀祢松で、後の甚五郎。大観町の善楽寺に近い無量光寺の山門や和坂・福林寺の戎大黒は甚五郎の作とされる。



明石市立天文科学館



乙女池

機械工具 平成28年度生産額実績及び29年度生産額見通し (会員統計)

(単位：百万円、%)

品 目	平成27年度	平成28年度				平成29年度見通し					
	下期実績	上期実績	下期実績	下期 前年度比	年度実績	上期生産額 見通し	前年同期比 (%)	下期生産額 見通し	前年同期比 (%)	年度見通し	前年度比
ドリル	10,198	9,093	8,997	88.2%	18,089	9,275	102.0%	9,473	105.3%	18,748	103.6%
エンドミル	4,499	3,976	3,588	79.7%	7,564	4,028	101.3%	3,717	103.6%	7,745	102.4%
カッタ	539	561	641	118.8%	1,201	567	101.2%	665	103.8%	1,232	102.6%
ギヤカッタ	4,576	4,178	4,274	93.4%	8,452	4,279	102.4%	4,398	102.9%	8,676	102.7%
ブローチ	6,512	6,220	5,826	89.5%	12,046	6,127	98.5%	6,000	103.0%	12,127	100.7%
ねじ加工工具	17,703	16,908	17,487	98.8%	34,396	17,314	102.4%	18,239	104.3%	35,553	103.4%
バイト	837	758	832	99.3%	1,590	767	101.1%	854	102.7%	1,621	101.9%
リーマ	1,035	1,086	1,011	97.7%	2,097	1,093	100.6%	1,046	103.5%	2,139	102.0%
鋸刃カッタ	777	745	749	96.4%	1,494	752	101.0%	771	103.0%	1,523	102.0%
耐摩工具	1,227	1,376	1,344	109.5%	2,720	1,390	101.0%	1,384	103.0%	2,774	102.0%
特殊鋼工具計	47,904	44,902	44,747	93.4%	89,648	45,591	101.5%	46,548	104.0%	92,139	102.8%
ドリル	18,815	19,407	20,242	107.6%	39,649	19,931	102.7%	21,315	105.3%	41,246	104.0%
エンドミル	21,521	20,834	21,002	97.6%	41,836	21,313	102.3%	21,884	104.2%	43,197	103.3%
カッタ	3,611	3,285	3,002	83.1%	6,288	3,285	100.0%	3,098	103.2%	6,384	101.5%
ねじ加工工具	1,770	1,683	1,719	97.1%	3,402	1,700	101.0%	1,793	104.3%	3,492	102.7%
バイト	6,103	5,810	5,550	90.9%	11,360	5,897	101.5%	5,744	103.5%	11,641	102.5%
リーマ	1,365	1,385	1,374	100.7%	2,759	1,417	102.3%	1,433	104.3%	2,850	103.3%
鋸刃カッタ	397	375	313	78.9%	689	389	103.5%	338	108.0%	727	105.5%
インサート	74,890	72,759	70,460	94.1%	143,219	74,796	102.8%	74,054	105.1%	148,850	103.9%
耐摩工具	18,427	18,737	18,966	102.9%	37,703	19,187	102.4%	19,649	103.6%	38,836	103.0%
鋳山土木工具	4,482	4,215	4,201	93.7%	8,416	4,308	102.2%	4,344	103.4%	8,652	102.8%
超硬工具計	151,381	148,490	146,831	97.0%	295,321	152,222	102.5%	153,653	104.6%	305,875	103.6%
ドリル	522	532	565	108.3%	1,097	529	99.4%	574	101.5%	1,103	100.5%
エンドミル	950	937	960	101.0%	1,897	956	102.1%	1,008	105.0%	1,964	103.6%
カッタ	508	389	441	86.8%	830	392	100.8%	464	105.3%	856	103.2%
インサート	9,827	9,621	9,535	97.0%	19,155	9,929	103.2%	10,155	106.5%	20,083	104.8%
ダイヤ・CBN計	11,807	11,478	11,501	97.4%	22,979	11,806	102.9%	12,200	106.1%	24,006	104.5%
ドリル	29,535	29,032	29,804	100.9%	58,836	29,734	102.4%	31,362	105.2%	61,097	103.8%
エンドミル	26,971	25,747	25,550	94.7%	51,297	26,298	102.1%	26,609	104.1%	52,906	103.1%
カッタ	4,658	4,235	4,084	87.7%	8,319	4,245	100.2%	4,228	103.5%	8,472	101.8%
ギヤカッタ	4,576	4,178	4,274	93.4%	8,452	4,279	102.4%	4,398	102.9%	8,676	102.7%
ブローチ	6,512	6,220	5,826	89.5%	12,046	6,127	98.5%	6,000	103.0%	12,127	100.7%
ねじ加工工具	19,474	18,591	19,206	98.6%	37,797	19,014	102.3%	20,032	104.3%	39,046	103.3%
バイト	6,940	6,568	6,382	92.0%	12,950	6,664	101.5%	6,598	103.4%	13,262	102.4%
リーマ	2,399	2,471	2,385	99.4%	4,856	2,510	101.6%	2,479	104.0%	4,989	102.7%
鋸刃カッタ	1,174	1,120	1,062	90.5%	2,182	1,141	101.8%	1,110	104.5%	2,250	103.1%
インサート	84,717	82,379	79,995	94.4%	162,375	84,724	102.8%	84,208	105.3%	168,933	104.0%
その他工具	8,778	8,489	8,733	99.5%	17,222	8,744	103.0%	8,995	103.0%	17,739	103.0%
ボディ関係	9,997	9,278	8,669	86.7%	17,948	9,492	102.3%	8,929	103.0%	18,421	102.6%
切削工具小計	205,732	198,310	195,969	95.3%	394,279	202,970	102.3%	204,949	104.6%	407,919	103.5%
耐摩工具	19,653	20,113	20,310	103.3%	40,423	20,577	102.3%	21,033	103.6%	41,610	102.9%
鋳山土木工具	4,482	4,215	4,201	93.7%	8,416	4,308	102.2%	4,344	103.4%	8,652	102.8%
総合計	229,867	222,638	220,481	95.9%	443,118	227,854	102.3%	230,327	104.5%	458,181	103.4%

(出典：日本機械工具工業会 会員統計)

訃報

後藤 勇様 日進工具株式会社 取締役会長

平成29年6月20日ご逝去(享年69歳)
葬儀および告別式は6月29日増上寺光撰殿にて執り行われました
謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします

編集後記

JTAジャーナル第9号をお届け致します。6月の総会で工業会役員の新体制が発足しましたが、私は2月末で(株)彌満和製作所を退社いたしましたので、編集業務も本号をもって卒業させて頂くことになりました。長い間ご支援頂き厚く御礼申し上げます。今後の編集委員会は事務局のご協力の下、

女性委員が勢揃いして運営されますので、一段ときめ細かい誌面作りが出来るものと期待されます。引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

猛暑の季節になりましたので、くれぐれもご自愛ください。
(細島 圭三)